



Analyst Kit

ROSETTANET
POWERED BY GS1 US

注) この資料は、最近ロゼッタネットグローバルが、アナリスト向けに作成した資料を翻訳したものです。
英文資料を正式原文とし、あくまで皆様のご参考資料として提供するものです。

2007年2月
RNJ事務局



アナリストの皆様:

“RosettaNet の事業について最新の状況をお知らせ致します。RosettaNet は確固たる新たな戦略をもって、従来からのコミュニティの需要を満たすと共に、様々な部門に跨る業界価値を創造する基盤を提供しています。ここに紹介します例は、RosettaNet コミュニティが標準をどの様に採用し実装しているか、また取引先との関係に影響を与える環境の変化にどのように対応しているかを示しています。”

RosettaNet の会員は今後とも新たなプロセス分野の開発を主導していくと共に、RosettaNet 内部のプロセス、手法、ツールの改善に努めてまいります。RosettaNet について理解を深めていただき、将来の見通しについての検討に役立てていただければ幸いに存じます。”

敬具

ハーマン ステップアウト
RosettaNet社長
GS1 US上級副社長

RosettaNet 概要



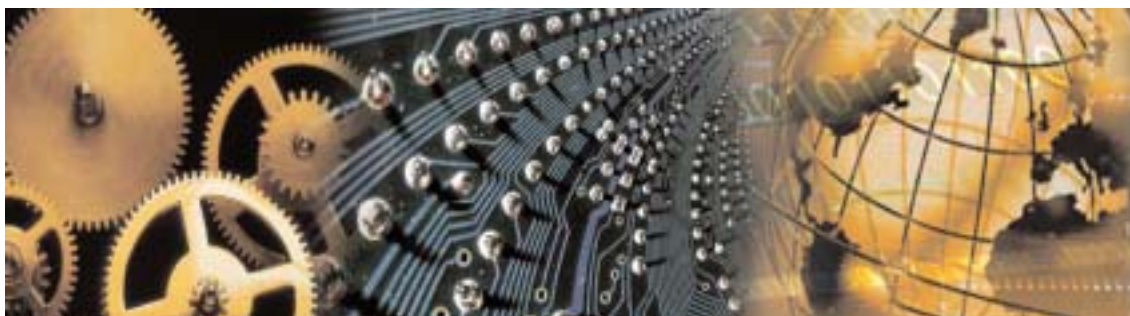
RosettaNet は、インターネットを基盤としたオープンな標準を共同して開発し、迅速に普及させることを使命とする中立的な非営利のコンソーシアムであり、企業の業績向上、ビジネスプロセスの生産性向上に貢献しています。

当コンソーシアムは、アメリカ、アジア、ヨーロッパ、オーストラリアに展開し、情報機器、電子部品、半導体製造、通信機器、物流、化学の各業界の 1200 社を超える多国籍企業及び地域企業が、RosettaNet のグローバル標準を活用しています。

RosettaNet 標準は、企業が主要ビジネスプロセスの効率性を向上させ、サプライ&デマンドチェーンに以下の利点をもたらします。

- 購買から支払まで、製造／組立、受注から入金までの各プロセスにおけるエラー、再処理、手作業の低減化
- 在庫管理の改善
- トランザクション処理能力の向上
- 受発注管理のサイクルタイムの改善
- サプライチェーンへのアクセスの拡大、およびその可視化と透明性の向上
- 調達におけるコスト節減
- 現金活用の有効化

RosettaNet ファクトシート



設立: 1998 年

グローバル本部: 米国ニュージャージー州 ローレンスビル

会員:

- 世界各地の 500 社を超える企業
- 1 兆 2,000 億ドルを超える時価総額
- アメリカ、ヨーロッパ、アジア、オーストラリアに関連組織を設置

対象とする業界:

- ハイテク
- 化学
- 物流
- 航空

自動化されたプロセス標準:

- 売上高予測および需要予測
- 在庫管理
- 原材料構成
- 製造および組立
- 調達から支払まで
- 受注から入金まで

RosettaNet Leadership:

Matti J. Heikkila
Chairman, RosettaNet
Vice President of Strategy and
Business Development, Nokia
URL: www.RosettaNet.org

Herman Stiphout
President, RosettaNet

Media and Analyst Relations Contact:

Jeff Oddo
T: +1 609.620.4548
email: joddo@gs1us.org

RosettaNet…サプライチェーンを改善し、ビジネスバリューを開拓する



RosettaNet 標準は e-ビジネスのフレームワークを提供します。RosettaNet 標準の導入により、企業間の協業的ビジネスプロセスにこれまでなかった正確性、迅速性、自動化、効率性を実現することができます。これらの標準は、国内外の取引先とビジネスをする上での改善策を企業に提供するものであり、世界中で業界の支援・支持を受けています。

成果:

- 受発注管理のサイクルタイムを 24 時間から 1 時間に短縮
- 100%エラーのない需要予測から決済までの調達プロセスを実現
- 手作業を 50%削減
- トランザクション処理のオペレーションを 50%短縮
- 出荷回数を 78%減らし、物流コストを削減
- 設備稼働率を 30%向上
- 在庫回転率を 3.3 から 7.0 に向上
- トランザクション能力を 1 分当たり 20 から 40 へと倍増

バリュー:

- グローバルな取引ネットワークに活用するプロセスの合理化・簡素化
- サプライチェーンのコストおよび遅延の削減
- 顧客満足の向上
- プロセスの標準化、自動化
- 人的資源および資金の有効活用

2006～2007年のハイライト

RosettaNet 会員が EPC Discussion Group に参加

RosettaNet の会員である IBM、インテル、モトローラ、シスコ、ノキア、DHL が、EPCglobal の Consumer Electronics Discussion Group に参加することに合意しました。このディスカッショングループは、業界の要求を明確にし、RosettaNet のビジネスプロセス自動化標準を活用することによって、EPC が可能にする RFID の技術をビジネスバリューの拡大に活用する可能性を見極めます。

10,000 コネクションのマイルストーンを達成

RosettaNet の取引先接続数が、2006 年末までに 10,000 を超えました(接続とは、1つの企業が1つの取引先との間に、1つのプロセス標準を適用することを指します)。RosettaNet コンソーシアムは、2002 年以降、1 年当たりの接続増加率 111%、取引先ネットワーク拡大率 49%を達成しました。この成長に貢献したのは、コアであるテクノロジー業界、および薬品業界、化学業界です。

分析プログラムの電子認証

複数の業界で製品輸送時に必要な分析プログラムの標準化が要求されているのを受け、RosettaNet は、分析に関するグローバルな電子認証標準(eCofA)を開発する取り組みに着手しました。eCofA は、化学、食品加工、薬品など、製品構成や許容値に関するデータを買手に転送することが要求される全ての業界で活用することができます。この標準が開発されれば、企業が複数のデータエレメント、転送方法、ビジネスプロセスのサポートを要求されることに起因する不要なコストや非効率を削減するのに役立ちます。このプログラムは 2007 年 1 月に着手し、12 ヶ月以内に完成する予定です。

プロセスデータ交換標準を迅速に開発

RosettaNet はこの度、ウエハー製造からパッケージングまでのプロセスデータの交換を効率化する製造ビジネスプロセス標準を完成し、実装しました。この標準 (Partner Interface Process® (PIP®) 7C8:半導体プロセスデータの交換は、サイクルタイムを削減し、プロセスデータを解釈、理解、処理する際の不正確さや手作業を排除することによって、製造プロセスから間接費を削減させます。

IBM Systems and Technology Group がチームの中心となって、この標準の設計と試験的実装に取り組みました。このチームには、IBM, Amkor, Freescale Semiconductor, Qualcomm, Texas Instruments, Samsung, Synticity, Skytide, Jabil, Celestica など、半導体業界から多数の企業が参加しました。IBM と Jabil は現在、組立歩留まりデータを PIP7C8 で試験的に交換しています。又、カード製造業で不可欠とされるカード歩留りデータの手入力作業の削減は、既に実施済みです。

7C8 チームはこの実証済みの標準を、9 ヶ月も経たずにコミュニティーに提供しました。この迅速さは、RosettaNet の手法が時代に先駆け、全ての業界で活用できる状況にあることを示しています。標準を迅速に開発、普及、実装できることが、RosettaNet コンソーシアムの主な利点です。7 年以上にわたり何百社ものハイテク企業が、標準を開発するプロセスの基盤を設定する力となってきました。このプロセスは、どんなサプライチェーンの早急なニーズをも満たします。

2007 年の戦略と構想

GS1 との連携強化

親企業である GS1 とより緊密に、より協働することにより、RosettaNet はコンソーシアムの会員により多くの価値を提供することができます。

- GS1 が世界中の 100 を超える会員業界のゲートウェーを提供し、新たな市場や業界に RosettaNet を普及させていきます
- コンソーシアムの会員は GS1 System の標準とソリューションを活用することができ、サプライチェーンの最適化を更に向上させることができます

EPC とのコラボレーション

Electronic Product Code™/Radio Frequency Identification (EPC/RFID)の技術は企業に対し、サプライチェーンの可視性、安全性、正確性を向上させる大きなチャンスを提供します。

RosettaNet の会員は、EPCglobal(姉妹組織)内に協業的なディスカッショングループを結成し、EPC/RFID 技術を活用するプロセスを探求しています。

- この技術はコンソーシアムのコアをなすハイテク業界の会員企業に適合しています
- EPC と RosettaNet の機能を統合する実験を実施中です
- RosettaNet は今後も、業界のバリュー創造をさらに促進する新たなユースケースを模索します

中小企業への拡大

RosettaNet は会員と協力し、それぞれの取引ネットワーク内で RosettaNet 標準の採用拡大を進めていきます。

- 中小企業を対象として RosettaNet の価値と利点を啓蒙することに焦点を当てます
- 低額の年会費および簡便な会員になる方法を開発中です

新たな業界への拡大

RosettaNet は、GS1 および EPCglobal と提携・協力し、コアであるハイテク業界からその周辺業界へと対象を拡大します。

- 特に、化学、航空部門をターゲットとします
- RosettaNet は、現在これらの業界が利用している GS1 の識別子を採用します

組織改革

RosettaNet の拡大支援およびその継続的な成長確保の一助とすべく、Executive Committee は新たな組織体制を承認しました。その目的は、すでに参加している業界での実装を進め、新たな業界の関心と参加を促し、戦略の実施に力を発揮するハイレベルな幹部を採用することにあります。

- Executive Committee は名称を Board of Governors へと変更し、人数を最大 25 へと拡大しました
- 新たに設立された指名委員会によって、6~8 名の会員が追加選出される予定です
- 2~3 の GS1 加盟組織

業界の支持



標準が文明を進化させることは、歴史が証明しています。ささやかながら、RosettaNet はハイテク業界というエコシステムを効率化して、取引を進化させてきました。これは他の業界がうらやむほどです。コンソーシアムが生み出した成果とバリューは、企業間のグローバルな共通語”Lingua Franca”としての RosettaNet の重要性を証明しています。

Fadi Chegade

Founder, RosettaNet

IBM

VP, Supply Chain Business Development

Managed Business Process Services

BOC Edwards では、RosettaNet 標準がビジネスの他の分野にもたらす利益を直接確認することができました。私達は、顧客に利益をもたらし、自社のオペレーションを合理化し、サプライチェーン全体の価値を高める協業的な解決策を開発する RosettaNet の確立された手法に信頼を寄せています。

Walter Gotham

BOC Edwards

Manager, Planning and Logistics

将来的には、今後 5 年間に例をとって言えば、私は RosettaNet がハイテク業界のみでなくその周辺業界においても事実上の標準となることを期待しています。更に RosettaNet が、RFID や EPC などの他の標準を活用することによって、会員が「what」や「where」に関する情報のみでなく「how」に関する情報をも得られるようになることも視野に入れていきます。

Manish Modi

Oracle

Vice President, Manufacturing and PLM Development

RosettaNet 標準により、インテルは 180 億ドルを超える購買、販売、物流のトランザクションを処理することが可能になりました。私達と RosettaNet で接続している取引先は 300 社を超え、昨年一年間で 4,400 万ドルのビジネス価値を生み出しています。

Craig Brown

Intel

Vice President, Technology and Manufacturing Group



CORPORATE HEADQUARTERS

Princeton Pike Corporate Center
1009 Lenox Drive, Suite 202
Lawrenceville, New Jersey 08648
USA

T +1 609.620.0200

F +1 609.620.1200

CUSTOMER SERVICE

7887 Washington Village Drive,
Suite 300

Dayton, OH 45459-8605 USA

T +1 937.610.4221

F +1 937.435.7317

email: Support@RosettaNet.org

www.RosettaNet.org

RosettaNet Japan

江東区深川2-6-11 富岡橋ビル4階

T+81 3-5245-1079

Email;rjn-contact@rosettanet.gr.jp

www.rosettanet.gr.jp

© RosettaNet 2007